

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 MC エッチ液 No.10R
会社名 マコト化学工業株式会社
住所 東京都大田区北千束2丁目9-2
担当者 技術部 石橋 秀元
電話番号 03-3782-5992
FAX 番号 03-5751-3052
緊急連絡先 同上
整理番号 MCH No.10R

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
「分類基準に該当しない」

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物の特定

化学名	含有量 (%)	官報公示整理番号	C A S No.	通知対象物質
有機酸	0.1~0.5			
硝酸アンモニウム	0.1~0.5	(1)-395	6484-52-2	政令番号 308号
有機酸塩	0.1~0.5			
水溶性樹脂	1.0~5.0			
界面活性剤	0.1~0.5			
防腐剤	1.0~2.0			
水	80~90		7732-18-5	

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 刺激がなくなるまで、多量の水で洗眼すること。
眼科医の手当てをうける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。もしあれば、石鹼を使用する。甚だしく汚染された衣服及び靴を脱ぐこと。皮膚炎を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合、速やかに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火方法 : 不燃性のため、本品は着火しないが、包装等が燃えた場合は、水又は消火器

にて消火する。

消火剤 : 水又は泡、粉末消火剤。

6. 漏出時の措置

漏洩した場合の措置：

流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起さないように注意する。

少量の場合：乾燥砂、土、ウエスなどに吸収させて密閉できる空容器に回収する。

大量の場合：盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：皮膚に触れない様に、眼に入らないように様に注意する。必要に応じて保護具を着用する。

保管：漏洩の防止、直射日光を避け冷暗所に保管する。

8. 暴露防止措置

成分に関する情報

硝酸アンモニウム

管理濃度：

設定されていない。

日本産業衛生学会「2005年版」

設定されていない

ACGIH (2005版)

設定されていない。

設備対策：

データなし

保護具：

保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

9. 物理/化学的性質

外観等 : 青色透明の液体

臭 気 : 微臭

pH値 : 3.0~4.0

比 重 : 1.00~1.05

揮発性 : なし

沸点 : 100℃以上

製品の引火点 : データなし

製品の発火点 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：通常取り扱い条件において安定

11. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

成分に関する情報

硝酸アンモニウム

急性毒性：	経口ラット LD ₅₀ 2798m g /Kg
	吸引（粉じん）ラット LC50 : >88.8m g /L（4時間）
皮膚腐食性・刺激性：	区分2（皮膚刺激性）
目に対する重篤な損傷・眼刺激性：	区分2A-2B（強い眼刺激）
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：	区分2（血液障害のおそれ）
	: 区分3（呼吸器への刺激のおそれ）
※危険／有害性の大きさ：区分は、数字の小さいほど危険性／有害性が高い。	
※記載がないものは、分類対象外または分類できない。	

製品に関する情報

皮膚腐食性：	なし
刺激性（皮膚、眼）：	あり（眼に入った場合）
急性毒性：	データなし
亜急性毒性：	データなし
慢性毒性：	データなし
がん原生：	データなし
変異原生（微生物、染色体異常）：	データなし
催奇形性：	データなし

1 2. 環境影響情報

分解性：	データなし
蓄積性：	データなし
魚毒性：	データなし

1 3. 廃棄上の注意

本品を未使用のまま廃棄する場合は、専門の廃液処理業者に委託して処理する。

1 4. 輸送上の注意

貯蔵温度	: 常温
貯蔵圧力	: 常圧
積込み温度	: 常温

取り扱い及び保管上の注意の項の記載事項を参照の事。

1 5. 適用法令

消防法：	非該当
労働安全衛生法	
有機溶剤予防規則：	非該当
名称を通知すべき有害物：	硝酸アンモニウム
表示を通知すべき有害物：	硝酸アンモニウム
P R T R 法：	非該当

毒物及び劇物取締法： 非該当

16. その他の情報

参考資料

- 1) ACGIH(2006 年)
- 2) 日本産業衛生学会(2006-2007 年)
- 3) ICSC CARD
- 4) 神奈川県環境研究所データベース
- 5) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果データベース
- 6) 原材料の MSDS
- 7) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）2006 年 5 月発行

※記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量。物理化学的物質、危険・有害性に関しては保証するべきものではありません。
取扱に関しては十分に注意して下さい。